

東通村防災会議開催

～東通村地域防災計画（原子力編）の修正を決定～

3月4日（月）、東通村庁舎において、東通村防災会議が開催されました。

東通村防災会議は、村地域防災計画を作成及び修正し、その実施を推進することや災害に関する情報を収集することなどを目的に設置され、県関係部局や警察・消防などの防災関係機関の方々が委員となっております。

会議では、会長である越善靖夫村長より、福島第一原子力発電所の事故を踏まえた国の防災体制の見直しや、関係法令の改正等を踏まえ地域防災計画（原子力編）の修正を行い、村の防災行政の推進と防災体制の整備に万全を期していくと挨拶がありました。

その後、事務局より、地域防災計画（原子力編）の修正内容について説明がありました。

委員からは、福島第一原子力発電所の事故を踏まえた対策が盛り込まれていることの確認がなされ、地域防災計画（原子力編）の修正は修正案のとおりに決定しました。



会議の様子



防災会議会長（越善村長）

今後も、最新の知見等を反映しつつ、計画の修正を行なっていくこととしております。村としては、今後も引き続き、原子力防災体制の充実・強化に努めてまいります。東通村地域防災計画（原子力編）の修正内容については次ページに紹介しておりますのでご覧ください。



大利部落会に事業助成

～財団法人自治総合センター コミュニティ助成事業～

（財）自治総合センターでは、今年度の一般コミュニティ助成事業において大利部落会（会長：大沢光弘）に対して、240万円の事業助成を行いました。

この助成事業の財源は、宝くじの受託事業収入によるもので、地域社会の健全な発展を図るための事業に活用されています。

助成を受けた大利部落会では、除雪機1台、シャッター付物置1棟を購入し、機械を貸し出したり、老人や一人暮らし世帯の除雪作業に役立てる予定です。集落内の交流が活発になり、連帯感に基づく自治意識の向上、コミュニティのさらなる発展に期待しています。



助成事業で購入した除雪機と物置